

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成29年5月18日(2017.5.18)

【公開番号】特開2016-64761(P2016-64761A)

【公開日】平成28年4月28日(2016.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-026

【出願番号】特願2014-195195(P2014-195195)

【国際特許分類】

B 6 0 K 35/00 (2006.01)

B 6 2 J 99/00 (2009.01)

【F I】

B 6 0 K 35/00 Z

B 6 2 J 99/00 B

B 6 2 J 99/00 K

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月28日(2017.3.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

連続的に変化する乗物状態を表示するために、前記乗物状態に連動して予め定められた配列方向に移動することで指針位置が変化する指針体と、

段階毎の前記乗物状態をそれぞれ示すための複数の指標部であって、間隔をあけて前記配列方向に並んで配置され、それぞれ個別に点灯形態を変化可能に設けられる複数の指標部を有する表示板と、

乗物の走行時に、前記乗物状態に基づいて、前記複数の指標部の点灯形態を変化させる制御部と

を備えることを特徴とする乗物用メータ表示装置。

【請求項2】

請求項1に記載の乗物用メータ表示装置において、

前記複数の指標部は、前記乗物状態を示すための指標値であり、

前記制御部は、前記乗物状態に対応した対応指標値を含むと共に対応指標値に対して配列方向の一方に並ぶ指標値群の点灯形態と、前記対応指標値よりも配列方向の他方に並ぶ指標値群の点灯形態とを異ならせる、乗物用メータ表示装置。

【請求項3】

請求項1に記載の乗物用メータ表示装置において、

前記制御部は、前記乗物状態に対応した対応指標部の点灯形態と、この対応指標部以外の他の指標部の点灯形態とを異ならせる、乗物用メータ表示装置。

【請求項4】

請求項1から3のいずれか一つに記載の乗物用メータ表示装置において、

前記制御部は、予め定められた条件が満たされたとき、前記複数の指標部の点灯形態を、前記条件が満たされる前の前記複数の指標部の点灯形態と異なる点灯形態にする、乗物用メータ表示装置。

【請求項5】

請求項1から4のいずれか一つに記載の乗物用メータ表示装置において、

前記制御部は、運転者による設定指令に応じて設定値を設定するとき、前記設定指令に基づいて、前記複数の指標部の点灯形態を変化させる、乗物用メータ表示装置。

【請求項 6】

請求項5に記載の乗物用メータ表示装置において、

前記設定値は、前記乗物状態についての設定値であり、前記制御部は、前記設定指令が前記設定値に達したとき、前記複数の指標部の点灯形態を、走行時に前記乗物状態の乗物状態値が前記設定値に達したときの前記複数の指標部の点灯形態と同じ点灯形態にする、乗物用メータ表示装置。

【請求項 7】

請求項1から6のいずれか一つに記載の乗物用メータ表示装置において、

前記乗物状態は、駆動源の回転数であり、

前記指針体は、回転中心を有し、この回転中心周りに前記回転数に応じて角変位し、

前記配列方向は、前記回転中心に対する周方向であり、

前記複数の指標部は、前記配列方向に並ぶ数字表示部を含み、

これらの数字表示部は、前記回転数を示す前記指針位置に対応している、乗物用メータ表示装置。

【請求項 8】

連続的に変化する乗物状態を表示するために、前記乗物状態に連動して予め定める配列方向に移動することで指針位置が変化する指針体と、

段階毎の前記乗物状態をそれぞれ示すための複数の指標部であって、間隔をあけて前記配列方向に並んで配置され、それぞれ個別に点灯形態を変化可能に設けられる複数の指標部を有する表示板と

を備えることを特徴とする乗物用メータ表示装置。